

令和2年度  
第3回 大館市木材利用推進会議

会議録

日時：令和3年2月10日（水）15：30～16：30

会場：大館市役所 3階 第1委員会室

令和3年2月10日 第3回 大館市木材利用推進会議 出席者名簿

区分	所属	職名	氏名
委員長	産業部	部長	日景 浩樹
副委員長	建設部	部長	齋藤 和彦
委員	総務部	部長	虻川 正裕
委員	市民部	部長	石田 一雄
委員	福祉部	部長	(欠席)
委員	観光交流スポーツ部	部長	工藤 剛
委員	教育委員会	次長	本多 恒博
アドバイザー	秋田県立大学木材高度加工研究所	所長	高田 克彦
事務局	産業部林政課	課長	古川 泰之
	産業部林政課	課長補佐	小棚木 信晴
	産業部林政課木材産業係	主任主事	千葉 泰生
	建設部都市計画課営繕係	係長	久保田 武人
	建設部都市計画課営繕係	主任主事	鳥潟 昂秀

1 開会 委員長あいさつ

＜日景委員長（産業部長）＞

- ・1月に林業・木材産業関係者、建築関係者、木育関係者に対し、計画案に関するアンケート意見聴取を行った。
- ・アンケート結果を踏まえ、先月の第2回部会で計画案について協議を行った。本日の会議で計画案の磨き上げを図り、3月の議会にて報告したうえで年度内での成案を目指したい。

2 取り組み状況報告

＜事務局（千葉）＞・資料1に沿って説明。

3 計画案説明

＜事務局（千葉）＞・計画案を説明。

4 大館市木材利用促進計画案に関する意見交換

＜齋藤副委員長（建設部長）＞

- ・文字の削減等により非常に見やすくなった。
- ・「5 木質資源の多面的利用推進（第2章）」の関連事業について、まちづくり課の「大館城下の町名標柱整備事業（旧事業名称：おおだてどこでも博物館標柱設置事業）」を追加いただきたい。
- ・計画内容は秋田スギの利用に特化するように見受けられるが、現場のニーズとしてはマツ等の他の樹種も求められている。そのようなニーズを森林整備計画（山側）に委ねることになると思われるが、今後のために利用側としてもニーズや位置付けをしっかりと整理してほしい。

＜虻川委員（総務部長）＞

- ・「2 公用備品等における木製導入の推進（第2章）」について、統一性をもたせるためにも、庁内の合意形成を経て進めてほしい。
- ・「1 大館市木材利用推進会議の開催（第3章）」のイラストについて、参考資料として要綱に推進会議のメンバーを記載しているので、ここで表示する必要があるのか。表示の仕方について再考してほしい。

＜石田委員（市民部長）＞

- ・「1 木材利用の現状と課題（第1章）」について市の木「秋田スギ」は市の条例では漢字表記であるため修正すること。その他森林面積等の数字を再確認のこと。
- ・「1 市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化推進（第2章）」の別表について、完成年度の順番で修正した方が良いと思う。

＜工藤委員（観光交流スポーツ部長）＞

- ・「教えてはちくん！」の解説がとても良いと感じた。
- ・「1 木材利用の現状と課題（第1章）」の曲げわっぱの写真について、弁当の上側が欠けている（写真フチのぼかし編集による）のが少し気になるので写真の差替え等検討願いたい。

＜本多委員（教育次長）＞

- ・全体的に今までになかったような柔らかいイメージの計画書となり良いと思う。
- ・参考資料「大館市木材利用促進計画の目標達成で得られる効果のイメージ」について、経済面での効果が対象施設の木材利用量のみでの試算、ということもあると思うが低いように感じる。今後、木材利用が浸透していくことによって変わっていくとは思っている。定着させるよう取り組んでほしい。

＜アドバイザー 秋田県立大学木材高度加工研究所 所長 高田 克彦 氏＞

- ・短い時間で素晴らしい計画を作成できたと思う。
- ・「教えてはちくん！」について若干間違っている部分があるので、後日、修正内容について事務局へアドバイスをを行う。
- ・アンケートで「森林認証」に関する意見があったが、取得したとしても価格が上昇するわけではない。しかし、海外、特に欧州では調達する木材の約80%が森林認証材となっており、国内では公共建築物整備で森林認証材のみの調達、といった制限がかかってくるなど、将来的には欧州のような流れになってくると思われる。今は計画に盛り込まないとしても、トレーサビリティの確保という面で森林整備計画との整合性をとっていただきたい。
- ・市民の方に見ていただくために見開き1枚でダイジェスト版の作成を検討いただきたい。
- ・計画期間の3年間について「PDCA」についてしっかり取り組んでいただき、サイクルをまわして行ってほしい。

～閉会～

第3回 大館市木材利用推進会議(令和3年2月10日)

